

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 小学校 2年

【題材名】 ぼくらの島，ぼくらの世界に到着だ！（教科書：おって たてたら）（5時間扱い）

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力，判断力，表現力等〕
2 (2) イ 絵や立体，工作に表す活動を通して，表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに，前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと。	2 (1) イ 絵や立体，工作に表す活動を通して，感じたこと，想像したこと，見たこと，伝え合いたいことから，表したいことを見付けることや，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じ，用途などを考えながら，どのように主題を表すかについて考えること。

【主な学習活動と留意点】

前題材からのつながり：「だんだんボール（造形遊び）」

・段ボールを工夫して使いながら，面白い形を見付けたり，見付けた形から活動を生み出したりする。

働かせる見方・考え方：紙を折って立てる工夫で生まれる形などの特徴から，自分なりの価値を生み出すこと

段階	学習活動（時間）	留意点
出 合 い	1 オリエンテーション ・島の設計図を描く。（1）	個人追求を基にイメージを広げる場面 ・絵や言葉で設計図を描く場面と，設計図を基に周りの友達と島のイメージについて話したりする場面をつくる。
生 活	2 グループで，どんな島にするか話し合いながら，島の形や大きさを考えて土台を作る。（1）	グループでイメージを広げる場面 ・活動しながら，島に立てたいものや島のイメージについての思いや考えを聞き合えるような場の工夫をする。
広 が り ・ 深 ま り	3 紙を切ったり折ったりしながら立て方を考え出したり，つくるものを考えたりする。（1） 4 つくりたいもののイメージを膨らませ見付けた立て方をいかしながらつくる。（2）	題材の願い：材料や，紙の折り方，形を工夫し，島に立てたいものをつくろう。 個人追求の場面・自然に行われる相互鑑賞の場面 ・自由に試せるようにするなど，児童が自分で「立て方」や「立てた形の面白さ」を見付けられるように支援する。 個人追求の場面・自然に行われる相互鑑賞の場面 ・見付けた立て方や形の面白さ，友とのかかわりからつくりたいもののイメージを広げられるよう支援する。
振 り 返 り	5 消しゴムの船に乗って，島を探検しながら鑑賞する。 ・表現のよさや美しさ，面白さを味わう。（1）	個人，グループ，全体での鑑賞場面 ・立て方や表現の面白さについて，よさや工夫に気づき，認め合えるような場づくりをする。

次題材へのつながり：「いろいろなかたちのかみから（絵）」

・いろいろな形の紙からイメージしたことを基に表したいことを考え，絵に表す。